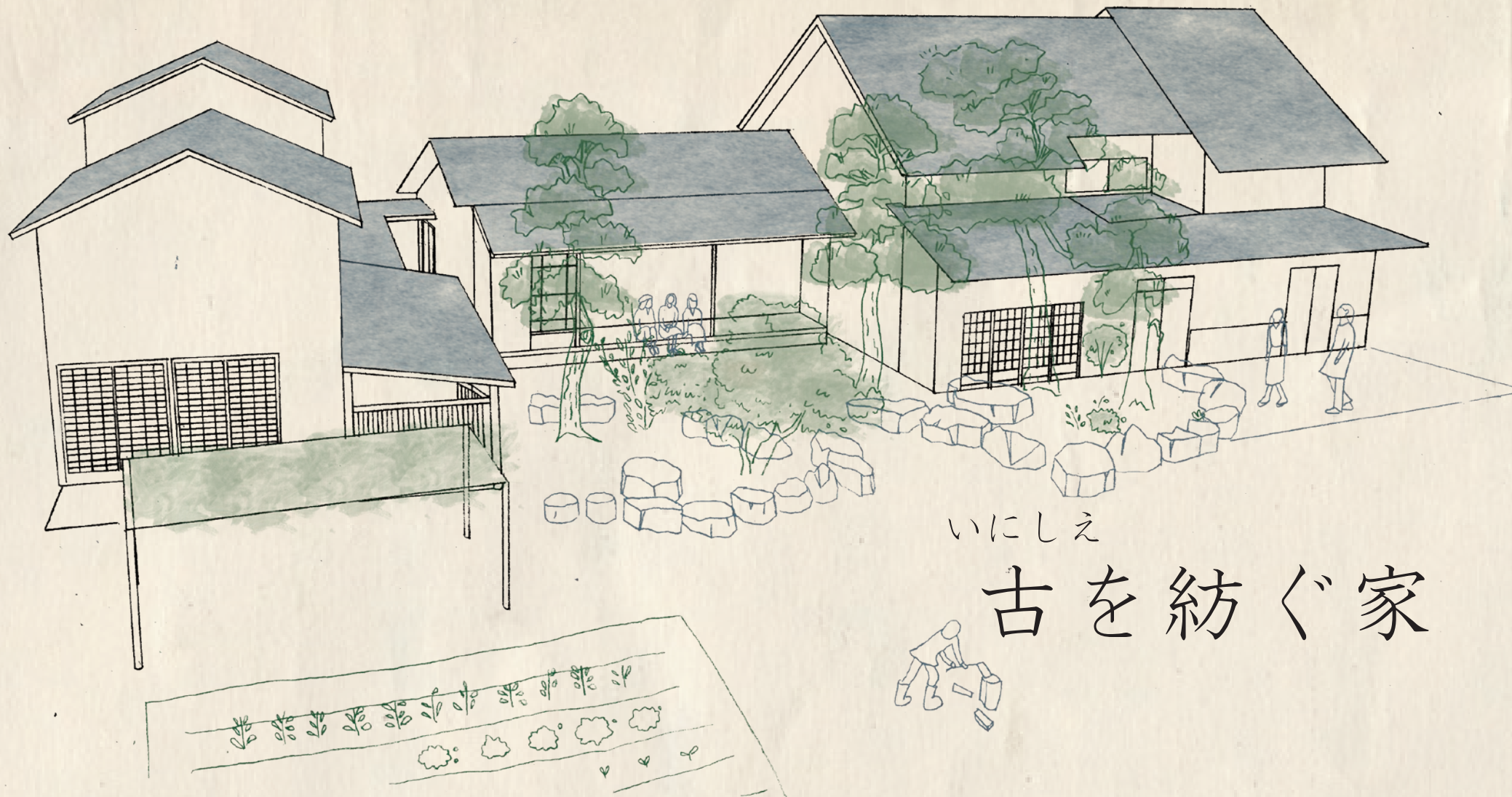




いにしえ

古を紡ぐ家

信州大学 松林瞳明

一、背景



かつての暮らし

- ・ 時間をたっぷりと使う
- ・ 丁寧
- ・ 豊かな体験



現在の暮らし

- ・ 便利
- ・ スマホで何でもできる

⇒ 豊かさを失った



二、提案

「古いものの良さ」を活かした

カフェと古民家宿

気軽に



じっくりと



短期・長期滞在どちらもできる

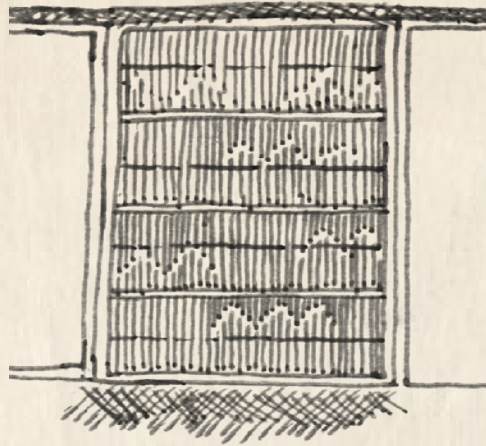
⇒より多くの人に須坂の魅力を

伝えることができる

三、現地調査 四つの魅力的な要素

1、建具

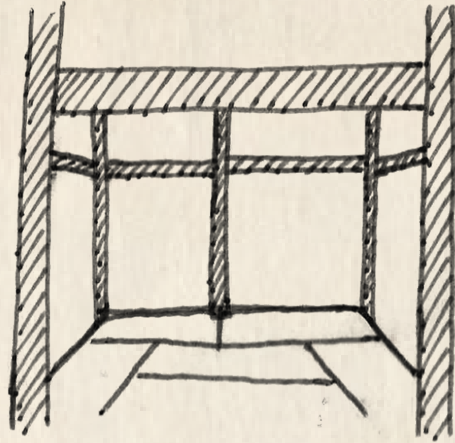
繊細で美しい
間仕切りが
何種類もある



三、現地調査 四つの魅力的な要素

2、軸組

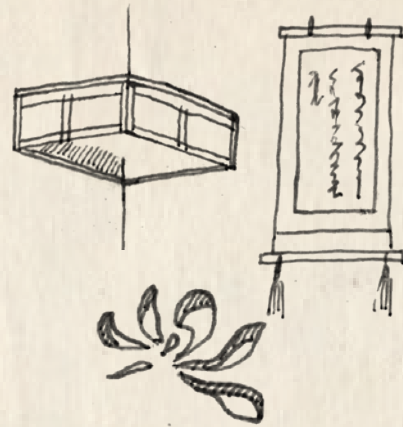
歴史を感じる
柱・梁などの
木材の質感



三、現地調査 四つの魅力的な要素

3、座敷・奥座敷の設え

奥の和室に
越家特有の家具・
装飾がある



三、現地調査 四つの魅力的な要素

4、自然

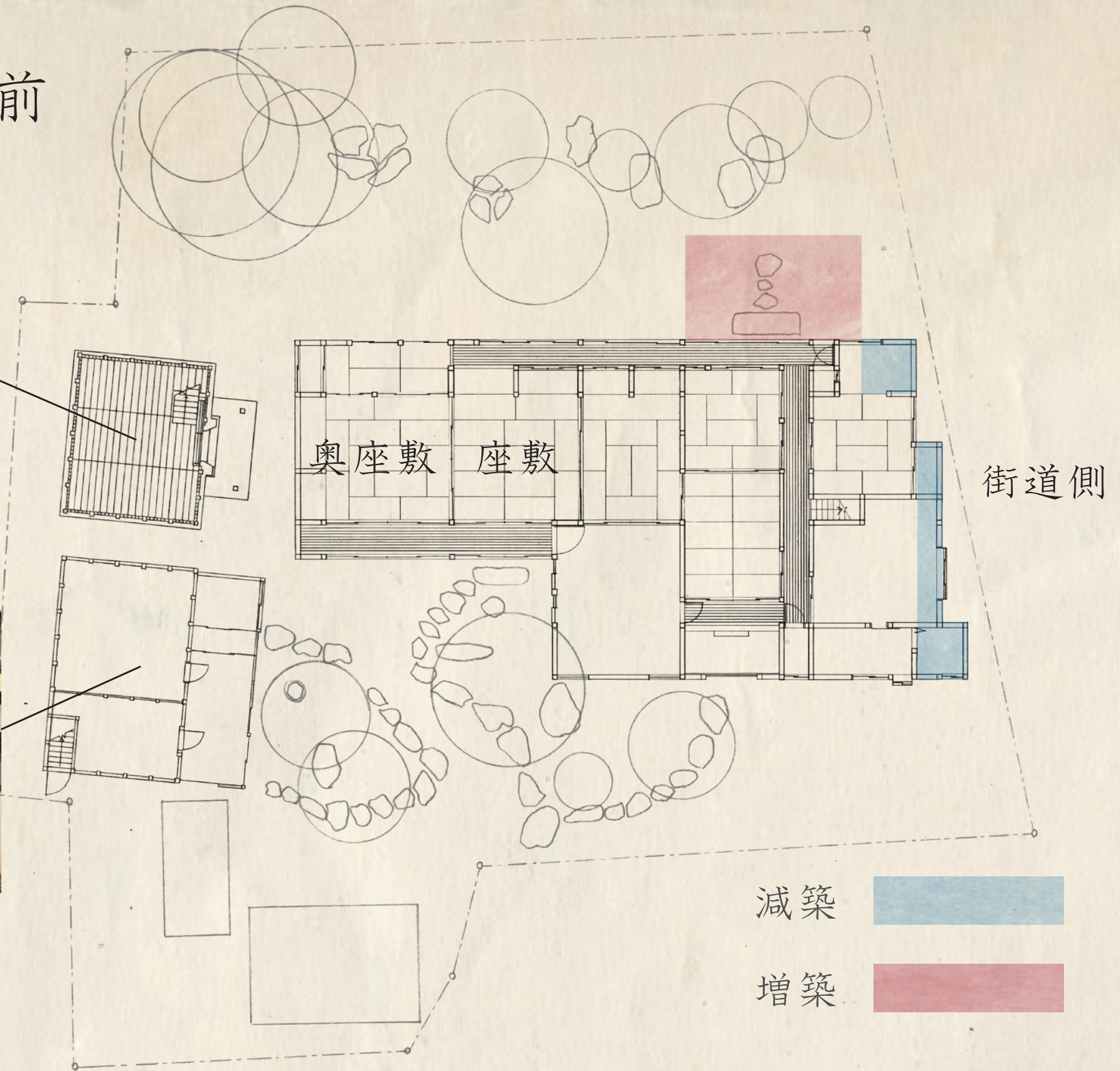
庭の自然を見ると
ゆったりとした時
の流れるを感じる



四、再生前



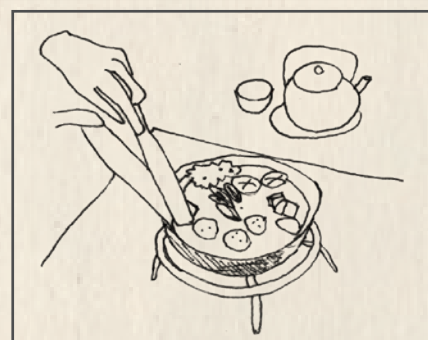
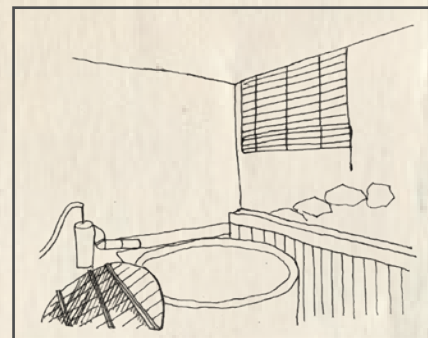
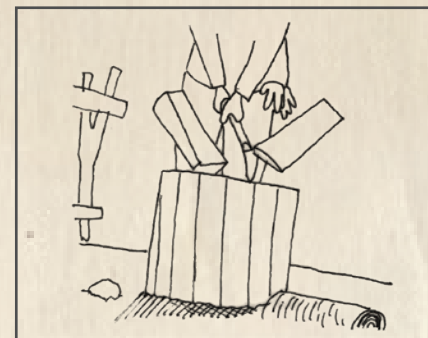
土蔵



五、再生後



体験例



六、再生後の様子 魅力的な要素の活用

1、建具



改築によって**廃材**となってしまう建具をカフェの入り口に**再利用**する。新築部分であるが歴史的町並みに調和する。

2、軸組

再生前



再生後



既存の軸組がよく見える客席

六、再生後の様子 魅力的な要素の活用

3、座敷・奥座敷の設え

再生前



再生後



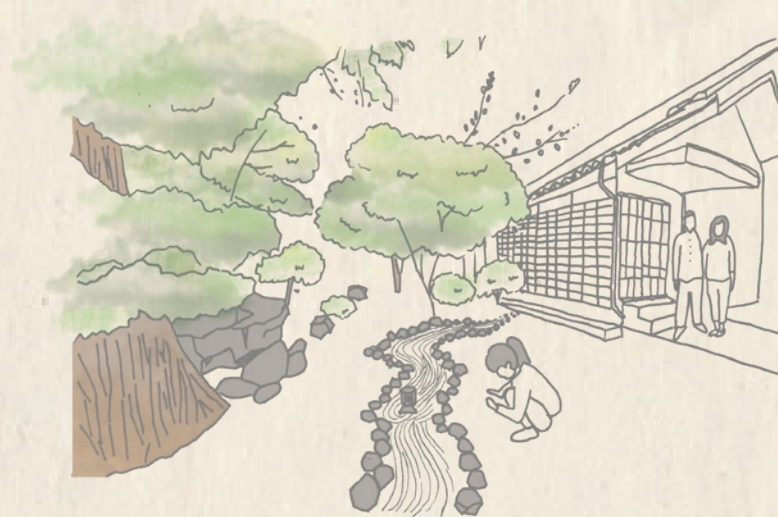
奥座敷はそのまま残し、
宿泊者の休憩場所として活用

4、自然

再生前



再生後



外通路から庭を眺める
水路は枯山水として楽しむ

七、立面（外観）計画

再生前

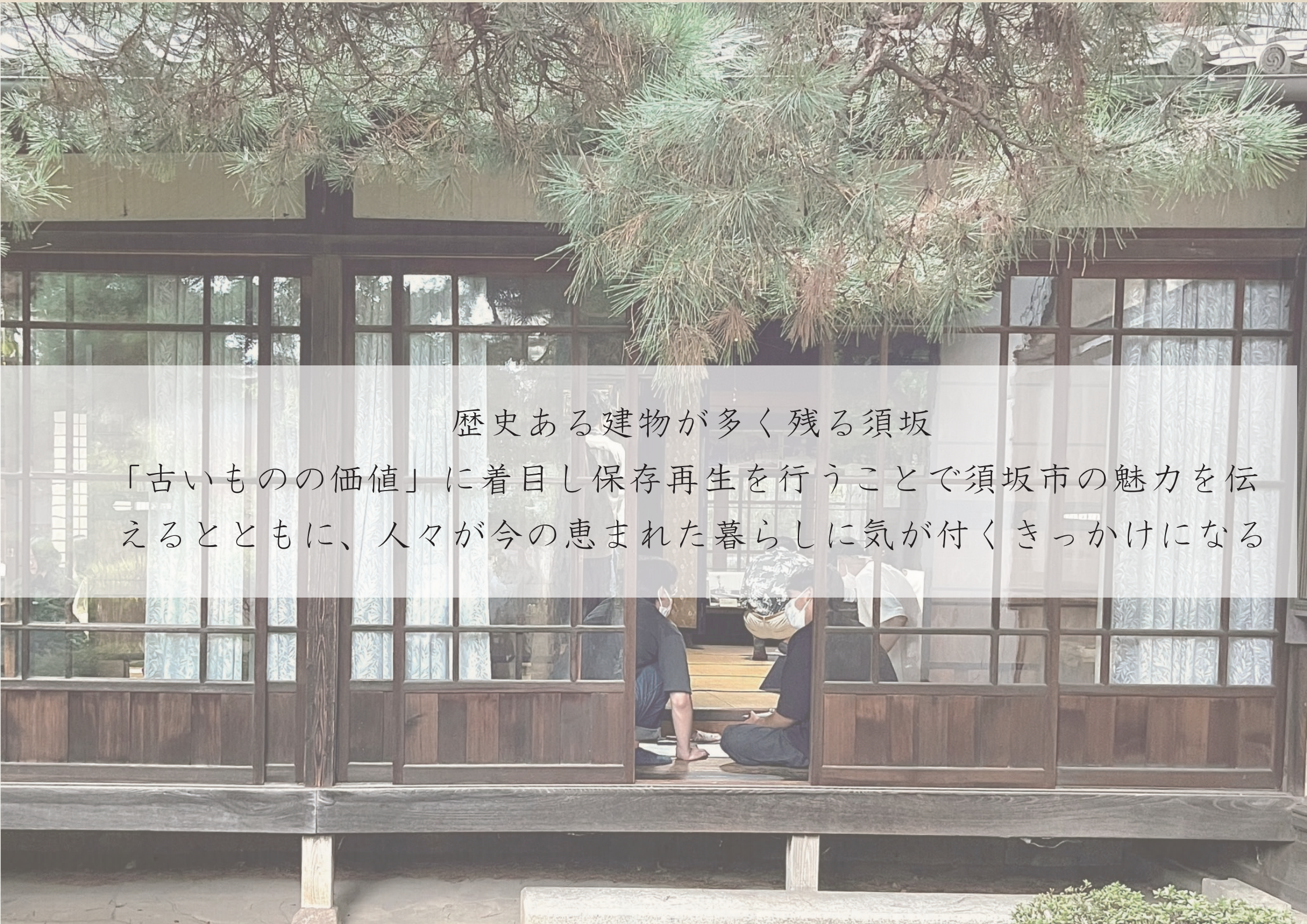


須坂市の景観づくりを
兼ねた計画

- ・ 脇門
- ・ 腰板
- ・ 木格子の付いた窓
- ・ 再利用した建具

再生後





歴史ある建物が多く残る須坂

「古いものの価値」に着目し保存再生を行うことで須坂市の魅力を伝え
るとともに、人々が今の恵まれた暮らしに気が付くきっかけになる

ご清聴ありがとうございました



